

高知県感染症発生動向調査（月報）

2026年7月

高知県感染症情報センター

高知県衛生環境研究所

TEL:088-821-4961 FAX:088-821-4696

全国情報

第27週(6月29日～)から第31週(～8月2日)までの5週間に報告の多かった疾患は表1のとおりである。全国における上位6疾患の合計は4週間に換算すると69.65で6月の50.25と比べて増加した。増加の主因は、手足口病、ヘルパンギーナ（両者は初夏の感染症）と新型コロナウイルス感染症の増加である。

新型コロナウイルス感染症について、2023年5月以降の全国と高知県における定点報告数を図1に示す。流行は、2020年度と21年度は年3回、22～24年度は年2回、25年度は年1回のピークがみられ、1年あたりの流行回数は経年的に減ってきた。これまで夏の流行が恒例で、本年も6月から増加がみとめられているが、その規模が昨年までに比べると小さい流行にとどまりそうである。

1位は手足口病で4週間換算値が30.81（6月2位12.74）と増加した。2位は感染性胃腸炎で15.50（同1位19.24）と減少した。3位はヘルパンギーナで7.62（同4位3.09）、4位は新型コロナウイルス感染症で6.95（同5位2.93）といずれも増加した。5位はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で6.71（同3位9.89）と減少した。6位は流行性角結膜炎で2.06（同7位1.83）と増加した。急性呼吸器感染症の4週換算値は194.28で6月の188.52と比べて横ばいだった。

表1 各週定点当たり報告数（全国）

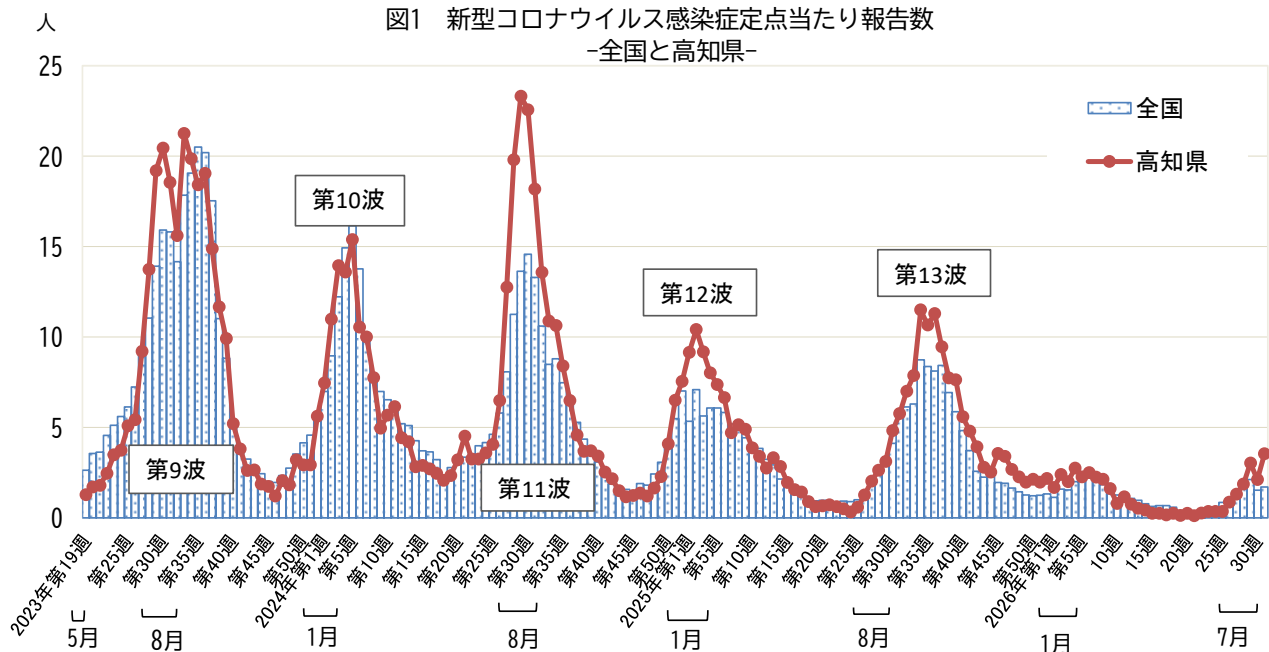
No	疾病名	27週	28週	29週	30週	31週	計
1	手 足 口 病	7.03	9.12	9.35	6.98	6.03	38.51
2	感 染 性 胃 腸 炎	4.45	4.29	4.00	3.20	3.43	19.37
3	ヘルパンギーナ	1.77	2.29	2.30	1.57	1.59	9.52
4	新型コロナウイルス感染症	1.47	1.87	2.12	1.53	1.70	8.69
5	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.06	1.89	1.75	1.32	1.37	8.39
6	流行性角結膜炎	0.48	0.55	0.55	0.51	0.49	2.58
	急性呼吸器感染症	50.88	52.25	51.89	42.87	44.96	242.85

県内情報

1. 全国との対比（定点当たり報告数）
- 上位6疾患の県内における報告数（表2）の合計を4週換算すると52.21で6月の27.80と比べて増加したが、全国よりも少なかった。
- 1位は手足口病で4週換算値23.92（6月2位9.16）と増加したが全国よりも少なかった。2位は新型コロナウイルス感染症で9.47（同5位1.91）と増加し全国よりも多かった。3位はヘルパンギーナで8.25（同4位2.42）と増加し全国と同等だった。4位は感染性胃腸炎で6.27（同1位9.53）、5位はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で2.58（同3位3.15）といずれも減少し、全国よりも少なかった。6位はRSウイルス感染症で1.72（同8位1.57）と横ばいで全国と同等だった。
- 急性呼吸器感染症は4週換算値が141.32で6月の118.46と比べて増加したが、全国よりも少なかった。

表2 各週定点当たり報告数（高知県）

No	疾病名	週	27週	28週	29週	30週	31週	計
1	手足口病		6.58	7.79	9.32	3.58	2.63	29.90
2	新型コロナウイルス感染症		1.30	1.86	3.03	2.11	3.54	11.84
3	ヘルパンギーナ		2.74	3.05	2.42	1.21	0.89	10.31
4	感染性胃腸炎		2.42	2.00	1.11	0.84	1.47	7.84
5	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.89	0.95	0.53	0.53	0.32	3.22
6	RSウイルス感染症		0.63	0.42	0.47	0.26	0.37	2.15
	急性呼吸器感染症		36.00	36.05	37.49	30.08	37.03	176.65



2. 全体の傾向

麻しん、風しんの報告無し。

麻しんは、第30週（7月30日）までに国内で547例の麻しん患者が報告され、2019年以来の大きな流行になった。さいわい、6月以降に報告数のペースは鈍っている。30都道府県から報告があり、最多は東京で264名、神奈川49名、埼玉40名、鹿児島34名、千葉32名、愛知28名の順に多い。20歳以上の成人例が72%を占め、「麻しんはおとなの感染症」である。今年の流行は国内感染例が多くなったが、国外で感染した44名の内訳は、インドネシアが15名で最多、ニュージーランドが7名、インド4名、ベトナム4名である。

高知県においても、2025年は4人の麻しん患者が発生し、17年ぶりの県内例であった。本年は6月に高知県民の1名が海外からの帰国航空機の中で麻しん患者と接触し緊張が走ったが、幸い発症しなかった。

麻しんの感染対策はワクチン2回接種の徹底に尽きる。しかし、ワクチンの接種率が低迷しており、2024年に高知県は第1期が91.0%、第2期は89.4%まで低下していた。

3. 主な疾患の発生状況

1) 急性呼吸器感染症

報告数 6,536名（6月 4,383名）。2025年4月7日にサーベイランスが開始された。高知市、中央西、中央東、安芸、須崎、幡多の順に多く報告された。7月はAdenovirus C、Coxsackievirus A6、Parainfluenza virus 1型と3型が各1件検出された。

2) インフルエンザ

報告数 33名（6月 1名）。2023年以降は1年中ゼロになることはない。2025/26シーズンは11月から流行が始まり、12月をピークとした標準的な流行規模だった。11月以降にAH3 NTが25件、B/Victoriaが16件検出され、主な流行株であった。7月に増加に転じる傾向は3年連続である。幡多、高知市、中央東、須崎の順に多く報告された。ウイルスは検出されていない。

3) 新型コロナウイルス感染症

報告数 438名（6月 71名）。図1に2023年5月以降の定点報告数を示す。2022年以降は年末始と夏に流行がみられていたが2025～26年は年末年始のピークを形成しなかった。6月に増加に転じたが、夏の流行規模は前年までに比べて小さい。県下全域から報告され、高知市、須崎、中央東、安芸、中央西、幡多の順に多く報告された。県下でのウイルス株に関する直近の解析では、1月にPQ. 2. 8. 1が2件、RC. 1、PQ. 2. 1が各1件検出され、2月以降は検出されていない。

4) 咽頭結膜熱

報告数 16名（6月 32名）。2024年5月以降は平年並の報告数で推移しているが、同時期として過去10年間では2023年と並んで最も少ない報告数である。中央東、高知市、須崎＝幡多から順に報告された。ウイルスは、急性呼吸器感染症の患者から検出されたAdenovirus Cが1件だけである。

5) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

報告数 61名（6月 60名）。2024年は過去10年間で最多だったが、2025年以降は平年並で推移している。高知市、幡多、中央東、須崎、中央西から表記の順に多く報告された。細菌は検出されていない。

6) 感染性胃腸炎

報告数 149名（6月 181名）。7月は同時期として過去10年で最少だった。2020年以降は少ない数で推移し、2025年3月に増加がみられたが、その後は平年よりも少ない。県下全域から報告があり、安芸と高知市でとくに多かった。その他と診断された者からNorovirus GⅡ NTが1件検出されている。

7) 水痘

報告数 13名（6月 12名）。ワクチン定期化の効果で少ない数で推移している。安芸、中央東、高知市、中央西の順に多く報告があった。

8) 手足口病

報告数 568名（6月 174名）。2024年は、過去10年で最大の流行でCoxsackievirus A6、A10とA16の3種類のウイルスが流行した。2026年は、県下全域から報告があり、高知市、中央東、須崎、幡多、安芸、中央西の順に多かった。流行が始まった5月以降に手足口病の患者からCoxsackievirus A6が19件、7月に同A10が1件検出された。

9) 伝染性紅斑

報告数 4名（6月 1名）。2024年10月から増加し、2025年は過去10年間で最多の報告数となった。2026年7月は、高知市から3名、須崎から1名が報告された。ウイルスは検出されておらず、2026年に同症の患者から検出されたHuman parvovirus B19は2件である。

10) 突発性発疹

報告数 25名（6月 14名）。想定内の変動である。

11) ヘルパンギーナ

報告数 196名（6月 46名）。2022年は過去10年間で最小、翌2023年は最大の流行、2024年は原因ウイルスが不明だった。2025年は5～10月に流行し、流行株はCoxsackievirus A4であった。2026年も5月から流行が始まった。県下全域から報告があり、中央東、高知市、安芸で特に多かった。今季はまだウイルスが検出されていない。

12) 流行性耳下腺炎

報告数 2名（6月 1名）。中央東と高知市から各1名が報告された。2020年5月以降は一桁の報告数で推移している。

13) RSウイルス感染症

報告数 41名（6月 30名）。2021年から5年連続で夏季の流行をみとめた。2026年は1月から増加に転じ、以後は微増を続けていたが、5月には減少に転じ、7月に再び増加したものの、大きな流行には至っていない。高知市と中央東から報告された。7月は、ウイルスの詳細は報告されていない。

14) 流行性角結膜炎

報告数 0名（6月 0名）。2018年9月以降は一桁の報告数で推移している。

15) 細菌性髄膜炎（基幹定点の報告疾患）

報告数 1名（6月 0名）。高知市から70歳以上の患者が1名報告された。2017年以降は年間一桁の報告数で推移したが、2024年は11名に達した。2025年は5名、本年は6名が報告されている。

16) 無菌性髄膜炎（基幹定点の報告疾患）

報告数 0名（6月 1名）。2017年以降は年間10名以下の少ない報告数で推移している。

17) マイコプラズマ肺炎（基幹定点の報告疾患）

報告数 17名（6月 13名）。2024年は過去10年間で最大の流行となり、同10月をピークに減少に転じたが2025～2026年も増減を繰り返しながら報告は続いている。幡多、中央東と高知市から報告された。

基幹定点の月報疾患

18) メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

報告数 29名（6月 25名）。高知市、中央東、安芸＝幡多から報告された。

19) ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

報告数 0名（6月 0名）。年間0～2名の報告にとどまっていたが、2025年は累計4名が報告された。2026年は1名が報告されている。

高知県感染症発生動向調査部会
前田 明彦

【参考】

年別全数報告（令和8年7月）

類型	病名	報告年															
		2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	
2	結核	132	128	138	129	122	110	97	103	60	65	73	53	62	59	39	
	計	132	128	138	129	122	110	97	103	60	65	73	53	62	59	39	
3	コレラ																
	細菌性赤痢						2										
	腸管出血性大腸菌感染症	8	3	5	2	34	2	4	9	1		3	7	5	12	9	
	腸チフス				1				1								
	バラチフス																
	計	8	3	5	3	34	4	4	10	1	0	3	7	5	12	9	
4	A型肝炎				3	1			2					1	1		
	E型肝炎	1							2	1		1				1	
	オウム病						1										
	Q熱																
	サル痘												1				
	重症熱性血小板減少症候群			3	11	3	7	5	9	6	4	8	10	10	15	5	
	つつが虫病	8	3	3		4	11	2	3	3	1	5	11	3	6	1	
	デング熱		3	2	1				2							1	
	日本紅斑熱	4	1	7	4	13	6	13	10	23	16	12	16	9	25	4	
	日本脳炎																
	マラリア								1				1	1			
	レジオネラ症	9	2	4	4	3	6	9	7	8	8	8	7	8	11	1	
	レプトスピラ症	2	1				1						1		1		
	計	24	13	27	15	28	30	29	36	41	29	34	47	32	59	13	
5	アメーバ赤痢	3		7	3	2	5	3	3		1	5	1	1			
	ウイルス性肝炎	3		1			2	1	1	2	2	2	1		2		
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症			7	19	21	22	21	20	10	5	12	9	11	13	8	
	急性弛緩性麻痺							1	2				1	2			
	急性脳炎	1		1	1	1	1		2	1	1	2			2	1	
	クロイツフェルト・ヤコブ病			2			2	1	1	3		1	1		1	1	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3		1		3	5	6	2	2	5	4	1	6	2	3	
	後天性免疫不全症候群	3	2	7	6	9	6	9	1	6		6	2	4	3		
	ジアルジア症	1						1							2		
	侵襲性インフルエンザ菌感染症			1	5	3	4	7	3	1	1	3	7	9	7	1	
	侵襲性肺炎球菌感染症		1	4	12	16	18	14	22	11	9	6	12	18	17	12	
	水痘（入院例に限る）				2	1	1	3		3	3	3	1		1		
	髄膜炎菌性髄膜炎														5		
	梅毒	10	8	4	11	12	23	19	20	35	96	51	62	40	36	18	
	播種性クリプトコックス症					1	3	5				4	3	1		1	
	破傷風	1		4	3	3	1		2	3	1	3	1	1	2		
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症				1		1	1									
	百日咳							173	172	35	3	9	7	4	1327	33	
	風しん	4	9	1				3									
	麻疹														4		
	計	29	20	40	63	72	94	268	251	112	127	111	109	97	1424	78	
総計		193	164	210	210	256	238	398	400	214	221	221	216	196	1554	139	

2026年月別全数報告

類型	病名	報告月							総計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	
2	結核	4	2	10	7	5	5	6	39
3	腸管出血性大腸菌感染症		1	1	3		4		9
4	E型肝炎							1	1
	重症熱性血小板減少症候群				1	2	1	1	5
	つつが虫病		1						1
	デング熱		1						1
	日本紅斑熱				2	1	1		4
	レジオネラ症	1							1
5	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症				2		3	3	8
	急性脳炎							1	1
	クロイツフェルト・ヤコブ病						1		1
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1			2				3
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1							1
	侵襲性肺炎球菌感染症	2		2	1	4	1	2	12
	梅毒		7		3	3	2	3	18
	播種性クリプトコックス症						1		1
	百日咳	9	6	5	1	2	5	5	33
総計	18	18	18	22	17	24	22	139	

高知県感染症情報 月報（54定点医療機関）

2026年 7月

定点名	保健所 疾病名	安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計	前月	前年同月
急性呼吸器感染症	急性呼吸器感染症（ARI）	278	890	4,141	590	351	286	6,536	4,383	7,623
	インフルエンザ		2	17		1	13	33	1	80
	新型コロナウイルス感染症	21	73	242	18	63	21	438	71	697
小児科	咽頭結膜熱		5	9		1	1	16	32	27
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		10	41	1	3	6	61	60	195
	感染性胃腸炎	18	19	95	7	7	3	149	181	234
	水痘	3	5	4	1			13	12	12
	手足口病	13	106	360	17	45	27	568	174	93
	伝染性紅斑			3		1		4	1	98
	突発性発疹		7	15	1	2		25	14	33
	ヘルパンギーナ	12	60	104	6	8	6	196	46	488
	流行性耳下腺炎		1	1				2	1	3
	RSウイルス感染症		9	32				41	30	88
眼科	急性出血性結膜炎									
	流行性角結膜炎									1
STD	性器クラミジア感染症			11				11	6	5
	性器ヘルペスウイルス感染症			2			1	3		2
	尖圭コンジローマ			3				3	1	
	淋菌感染症		1	3				4	2	1
基幹	細菌性髄膜炎			1				1		1
	無菌性髄膜炎								1	1
	マイコプラズマ肺炎		1	5			11	17	13	34
	クラミジア肺炎（オウム病は除く）									
	感染性胃腸炎（病原体がロタウイルスであるものに限る）									1
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	1	2	25			1	29	25	27
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症									2
	薬剤耐性緑膿菌感染症									1
計(ARIを除く)		68	301	973	51	131	90	1,614	671	2,124
前月		23	95	418	24	81	30			
前年同月		63	243	1,000	192	143	483			
小児科定点数		1	4	8	2	2	2			

高知県感染症情報 月報（54定点医療機関）

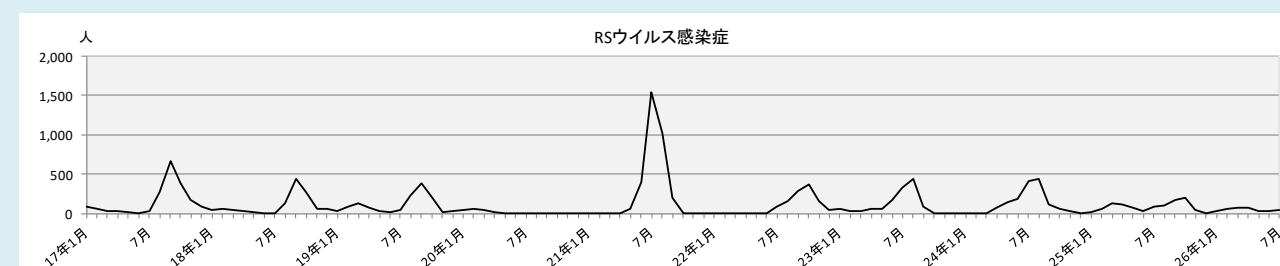
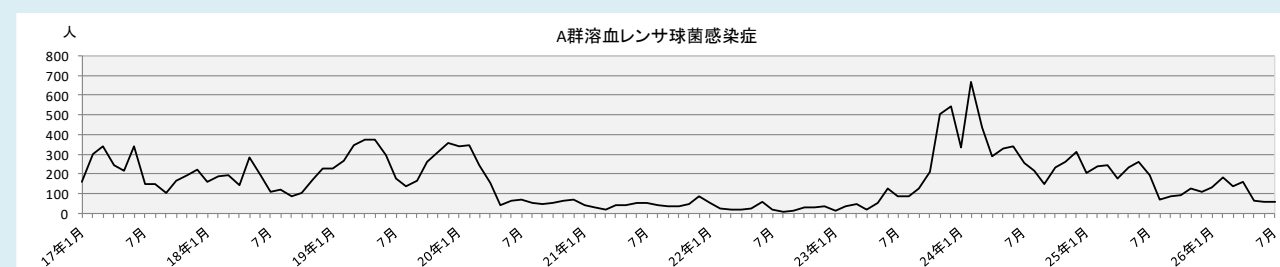
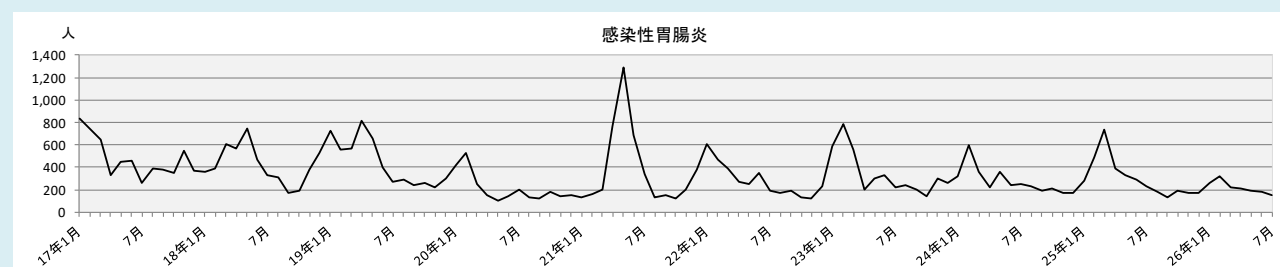
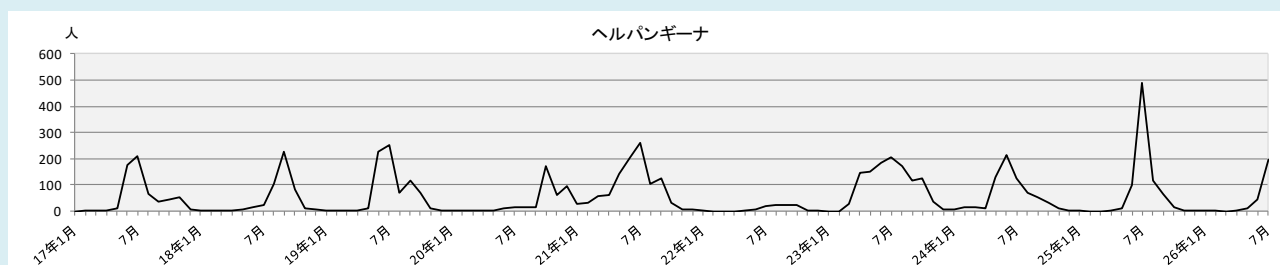
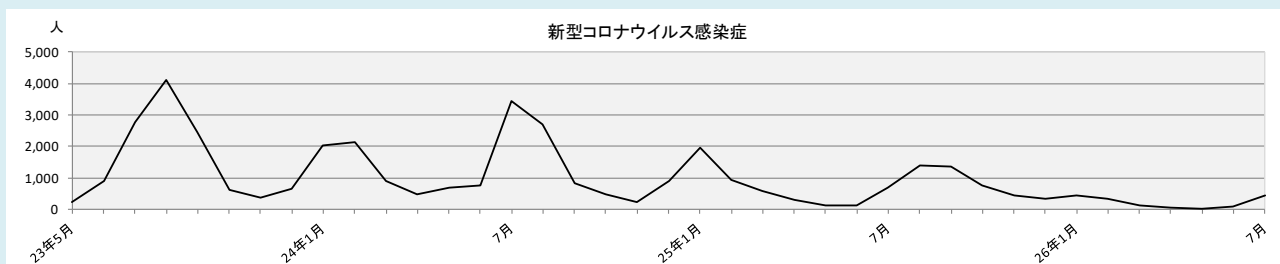
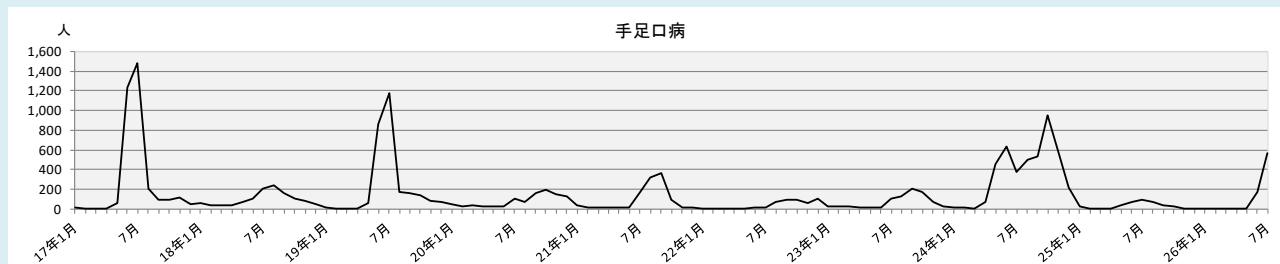
2026年

7月

定点当たりの人数

定点名	保健所 疾病名	安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計	前月	前年同月
急性呼吸器感染症	急性呼吸器感染症（ARI）	92.67	127.14	318.54	147.50	87.75	47.66	176.65	118.46	200.61
	インフルエンザ		0.28	1.32		0.25	2.17	0.89	0.03	2.10
	新型コロナウイルス感染症	6.99	10.41	18.62	4.50	15.75	3.50	11.84	1.91	18.35
小児科	咽頭結膜熱		1.25	1.14		0.50	0.50	0.84	1.69	1.35
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		2.50	5.14	0.50	1.50	3.00	3.22	3.15	9.75
	感染性胃腸炎	18.00	4.75	11.89	3.50	3.50	1.50	7.84	9.53	11.70
	水痘	3.00	1.25	0.52	0.50			0.68	0.63	0.60
	手足口病	13.00	26.50	45.02	8.50	22.50	13.50	29.90	9.16	4.65
	伝染性紅斑			0.38		0.50		0.21	0.05	4.90
	突発性発疹		1.75	1.88	0.50	1.00		1.32	0.74	1.65
	ヘルパンギーナ	12.00	15.00	13.02	3.00	4.00	3.00	10.31	2.42	24.40
	流行性耳下腺炎		0.25	0.13				0.11	0.05	0.15
	RSウイルス感染症		2.25	4.02				2.15	1.57	4.40
眼科	急性出血性結膜炎									
	流行性角結膜炎									0.33
STD	性器クラミジア感染症			5.50				1.83	1.00	0.83
	性器ヘルペスウイルス感染症			1.00			0.50	0.50		0.33
	尖圭コンジローマ			1.50				0.50	0.17	
	淋菌感染症		0.50	1.50				0.67	0.33	0.17
基幹	細菌性髄膜炎			0.20				0.13		0.13
	無菌性髄膜炎								0.13	0.13
	マイコプラズマ肺炎		1.00	1.00			11.00	2.14	1.64	4.27
	クラミジア肺炎（オウム病は除く）									
	感染性胃腸炎（病原体がロタウイルスであるものに限る）									0.13
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	1.00	2.00	5.00			1.00	3.63	3.13	3.38
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症									0.25
	薬剤耐性緑膿菌感染症									0.13
小児科定点分計		53.99	11.00	11.00	11.00	11.00	11.00	69.31	30.93	84.00
前月		22.33	11.00	11.00	11.00	11.00	11.00			
前年同月		31.67	46.30	104.67	76.25	51.25	123.06			

高知県の注目される疾患の月別推移



高 知 県 感 染 症 情 報 （月報）
2026年7月

検査情報

ウイルス， 細菌の分離状況

令和8年7月はウイルス32件の搬入があり、そのうち ウィルス26件の病原体を検出した。検出ウイルスの内訳は、Adenovirus C 1件、Coxsackievirus A6 10件、Coxsackievirus A10 1件、Cytomegalovirus 2件、Human herpes virus 6 1件、Human herpes virus 7 3件、human parvovirus B19 1件、Norovirus GII NT 1件、Parainfluenza virus 1 1件、Parainfluenza virus 3 1件、Parechovirus 3 1件、Rhinovirus 3件であった。

ウイルス， 細菌の分離状況

No	年齢	性別	臨床診断名	臨床症状	検査材料名	採取日	ウイルス、細菌の検出
1	14	男	—	40℃,	ふん便	6/12	Norovirus GII NT
2	1	男	急性呼吸器感染症（インフルエンザ様疾患）	40℃, 咳嗽,	ぬぐい液	6/15	Coxsackievirus A6
3	1	女	急性呼吸器感染症（インフルエンザ様疾患）	40℃, 咳嗽, 下気道炎,	ぬぐい液	6/17	Adenovirus C
4	2	女	手足口病	40℃,	ぬぐい液	6/18	Coxsackievirus A6 Cytomegalovirus
5	1か月	男	—	39℃, 発疹,	ふん便	6/21	Parechovirus 3
6	1か月	男	—	39℃, 下痢, 発疹, 肝機能,	ぬぐい液	6/24	Rhinovirus
7	1	女	手足口病、水痘	水疱, 発疹,	ぬぐい液	6/23	Rhinovirus
8	1	男	手足口病	39℃, 発疹,	ぬぐい液	6/26	Coxsackievirus A6
9	3	男	手足口病	39℃, 発疹, 口内炎,	ぬぐい液	6/29	Coxsackievirus A6
10	2	男	手足口病	39℃, 発疹,	ぬぐい液	6/29	human parvovirus B19 Coxsackievirus A6
11	1	女	手足口病	39℃, 発疹,	ぬぐい液	7/3	Coxsackievirus A6 Human herpes virus 6
12	2	男	急性呼吸器感染症（インフルエンザ様疾患）	39℃, 咳嗽,	鼻汁	7/3	Parainfluenza virus 1 Parainfluenza virus 3
13	1	男	手足口病	39℃, 嘔吐, 発疹,	ぬぐい液	7/6	Coxsackievirus A6 Cytomegalovirus
14	2か月	男	—	38℃,	ぬぐい液	7/6	Coxsackievirus A6
15	1	女	—	38℃, 発疹,	ぬぐい液	7/8	Rhinovirus
16	1	男	手足口病	39℃, 発疹,	ぬぐい液	7/14	Coxsackievirus A10
17	1	男	手足口病	40℃, 発疹, 口内炎,	ぬぐい液	7/14	Coxsackievirus A6
18	1	男	夏かぜ	38℃, 発疹,	ぬぐい液	7/16	Coxsackievirus A6 Human herpes virus 7
19	12	男	EB疑い	40℃, 発疹,	ぬぐい液	7/21	Human herpes virus 7
20	16	女	伝染性紅斑	発疹,	ぬぐい液	7/25	Human herpes virus 7

病原体検出状況

臨床診断名	病原微生物	2026年							2026年総計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	<i>Streptococcus pyogenes</i> T4			1					1
	<i>Streptococcus pyogenes</i> TB3264			2					2
	計			3					3
RSウイルス感染症	Adenovirus 1			1					1
	Respiratory syncytial virus B			2					2
	計			3					3
咽頭結膜熱	Adenovirus 1								0
	Adenovirus 2								0
	Adenovirus 5								0
	Adenovirus C								0
	Respiratory syncytial virus B			1					1
	計			1					1
インフルエンザ	Influenza virus A H1pdm09								0
	Influenza virus A NT								0
	Influenza virus A H3 NT	1							1
	Influenza virus B/Victoria								0
	計	1							1
感染性胃腸炎	Astrovirus NT		2						2
	Norovirus GII NT	1	4	1	5	7			18
	Sapovirus genogroup unknown		1						1
	Rhinovirus					1			1
	計	1	7	1	5	8			22
水痘	Human herpes virus 7				1	1			2
	Influenza virus A NT	1							1
	Influenza virus A H3 NT	1							1
	Varicella-zoster virus	2			1	1			4
	Rhinovirus						1		1
	計	4			2	2	1		9
手足口病	Coxsackievirus A4								0
	Coxsackievirus A6					2	10	7	19
	Coxsackievirus A10							1	1
	Cytomegalovirus					1	3	2	6
	Enterovirus71								0
	Epstein-Barr virus		1						1
	Human herpes virus 6					2	3	1	6
	Human herpes virus 7		2			1	2		5
	human parvovirus B19						1	1	2
	Rhinovirus		1				3	1	5
	計		4			6	22	13	45
伝染性紅斑	Epstein-Barr virus			1					1
	Human herpes virus 6								0
	Human herpes virus 7		1	1	1			1	4
	human parvovirus B19			1	1				2
	Rhinovirus	1							1
	計	1	1	3	2			1	8
突発性発疹	Echovirus 18								0
	Epstein-Barr virus					1			1
	Human herpes virus 6			1		1			2
	計			1		2			3

臨床診断名	病原微生物	2026年							2026年総計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	
流行性耳下腺炎	Rhinovirus			1		1			2
	計			1		1			2
無菌性髄膜炎	Rhinovirus						1		1
	計						1		1
その他	Adenovirus 1		1						1
	Adenovirus 2		1						1
	Adenovirus C				1				1
	Astrovirus NT				1				1
	Coxsackievirus A6						1	2	3
	Cytomegalovirus	1	3						4
	Epstein-Barr virus	1		1					2
	Human herpes virus 7	1	2		1			2	6
	Norovirus GI NT				1				1
	Norovirus GII NT	1	1					1	3
	Parechovirus 3							1	1
	Respiratory syncytial virus B		1						1
	Rhinovirus	2	3	1	1	2		2	11
	Rotavirus group A G3		1						1
	計	6	13	2	5	2	1	8	37
総計		13	25	15	14	21	25	22	135

臨床診断名	病原微生物	2026年							2026年総計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	
急性呼吸器感染症	Adenovirus NT	1							1
	Adenovirus C							1	1
	Adenovirus 2					1			1
	Coxsackievirus A6							1	1
	Enterovirus NT	1	2						3
	Human metapneumovirus		1						1
	Influenza virus A H3 NT	4	3						7
	Influenza virus A NT	1	1						2
	Influenza virus B/Victoria	3	5		1				9
	Parainfluenza virus 1							1	1
	Parainfluenza virus 2	2							2
	Parainfluenza virus 3							1	1
	Parainfluenza virus 4	1	1						2
	Respiratory syncytial virus A	1	1	1					3
	Respiratory syncytial virus B		1	3	1				5
	Rhinovirus	5	2	1	1	1			10
	SARS-CoV-2	8			1				9
検査検体数		20	13	6	4	2	0	7	52
検出検体数		19	12	5	3	2	0	4	45
検出率 (%)		95.0	92.3	83.3	75.0	100.0	0	57.1	86.5

1つの検体から複数の病原体が検出された場合は、検出された全ての病原体を計上しています。